

活動状況報告書

- 1 事業名称 河原塚史編纂事業
- 2 実施主体 河原塚史編纂委員会
- 3 事業の実施内容

I 河原塚4町会への回覧配布

日付	題目
4月	本勝寺はいつ開山か
5月	都立八柱霊園の誕生
6月	農業の移り変わり
7月	メイン通りは中通り
8月	菅原道真公を祀る
9月	大地に入り込む深い谷
10月	南山地域の宅地開発
11月	いまも活躍する井戸水
12月	寺ノ台と宮ノ内区画整理
1月	河原塚小・中学校の新設
2月	春木川の水害と改修工事
3月	霊園前に石材店が進出

II 講演会、地域貢献

日付	作業内容
6月27日	本勝寺にて講演
7月25日	熊野神社の菅原道真公遷座式に協力

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

事業計画は順調に進んでいる。毎月1回の町会員への編集記事の配布は予定通りに進行。

当初の目的である28年12月の冊子出版を目指し、編集の記事、写真等の最終チェックを含め努力を傾注する。

(2) 事業課題の解決について

一番の課題は出版にかかわる費用の捻出。松戸市からの助成金30万円の採択を励みとして、河原塚4町会への協賛金要請を始めとして、個人、各団体等に幅広く協賛をお願いする予定。今後の推移をみながらなんとしても資金の確保を実現したい。

5 今後の事業展開

平成28年12月の冊子発行で事業は完成。これに向けて平成27年8月18日に出版社と打ち合わせ。活動のなかで、松戸市を含め多くの出会いがあり、新しい発見があった。

特に“領主”新見家の末裔の存在が明らかになったので、編纂委員会との交流の機会を持ちたいとも考えている。

この事業内容が役立つのであれば、寄せられた意見を参考に、新しい貢献、活躍の場を考えてみたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	団体からの寄付	¥ 8,600	¥ 8,600	¥ 0	
	個人協賛金		¥ 2,107	¥ ▲2,107	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 8,600	¥ 10,707	¥ ▲2,107	/
	前年度繰越金	¥ 0	¥ 0		
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0		
	〇〇団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 38,500	¥ 38,500		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 47,100	¥ 49,207		/
市	市民活動助成金 (B)	¥ 77,400	¥ 77,400	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 124,500	¥126,607	¥ ▲2,107	/

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	印刷費	¥ 6,000	¥ 3,275	¥ 2,725	回覧板の印刷
	消耗品費	¥ 77,000	¥ 77,012	¥ ▲12	用紙、インク代
	通信費	¥ 3,000	¥ 7,820	¥ ▲4,820	切手代
	対象経費の合計(D)	¥ 86,000	¥ 88,107	¥ ▲2,107	/
(その他経費)	交通費	¥ 13,500	¥ 13,500	¥ 0	
	委員食事費	¥ 25,000	¥ 25,000	¥ 0	
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 38,500	¥ 38,500	¥ 0	/
合計額 (F) = (D+E)		¥ 124,500	¥126,607	¥ ▲2,107	/

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- ~~3 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D) = 事業費収入額(a②) - 市民活動助成金(B)」と同額となること。~~
- 4 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

-

団体名
代表者氏名

河原塚史編纂委員会
代表幹事 矢野 浩



収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体からの寄付	¥ 8,600		
	個人協賛金	¥ 2,107		
	前年度繰越金			
	〇〇団体拠出金 (対象外経費)	¥ 38,500		
市	市民活動助成金	¥ 77,400		
合 計 額		¥ 126,607		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	1 印刷費	¥ 3,275	回覧板印刷	別紙内訳明細添付
	2 消耗品費	¥ 77,012	用紙、インク代	〃
	3 通信費	¥ 7,820	切手代	〃
		対象経費の合計	¥ 88,107	
その他経費	交通費	¥ 13,500		ガソリン代、電車料金
	委員食事費	¥ 25,000		昼食代、飲食代
	その他経費の合計	¥ 38,500		
合 計 額		¥ 126,607		

活動状況報告書

1 事業名称 「カレーを食べる会」事業

2 実施主体

■ 団体名： 五番街ふれあいセンター

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

「カレーを食べる会」の実施。

日付	作業内容
平成27年4月23日(木)	「筍ごはん」「煮込みハンバーグ」「抹茶ゼリー」
5月28日(木)	「シーフード」「ささみの梅小鉢」「いちご大福」
6月25日(木)	「ポーク雑穀米」「わかめと胡瓜の酢の物」「バナナヨーグルト」
7月24日(金)	「キーマカレー」「夏野菜のネバネバ和え」「みかんゼリー」
8月27日(金)	「ジャージャー麺」「なすとししとうの揚げ煮」「水羊羹」
9月25日(金)	「秋茄子のカレー」「大葉とトマトの小鉢」「ぶどう」
10月22日(木)	「ドライカレー」「揚げだし豆腐(茸あん)」「みたらし団子」
11月27日(金)	「かぼちゃ入り」「春菊と かぶのじゃこ和え」「芋ようかん」
12月16日(水)	「つくね鍋(カレー味)」「ゆかりで太巻き」「煮りんご」
平成28年1月22日(金)	「根菜カレー」「ロールキャベツ」「スイートポテト」
2月25日(木)	「コロッケカレー」「鶏の胡瓜、ごまだれ」「クッキー」。
3月24日(木)	「新玉葱のカレー」「わけぎと、若芽のぬた」「桜餅」。

※上記のメニュー調理活動以外に、会場作り、片づけ作業。反省会を実施。

※事前の出欠確認作業。(見守り活動手順の確立。)

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

①月に一回の開催は、計画通り毎月実施出来た。

参加者数は計画 480 名 (40 名/回) が 696 名 (58 名/回) を達成。

②事前出欠確認作業を次の手順で行い、見守り活動としている。

<手順>

- ・月初めに出席票を配布。
- ・締切日までに回答のない場合は、電話、訪問で確認。
- ・直前 (2 日前) 出席の確認文を配布。
- ・当日、来ない参加者には、再度電話、訪問で確認。

最近では、会を重ねるごとに、食後の懇談が活発になった。

各席にスタッフが付き、生活の近況を話し合い見守りに役立っている。最近では、会の帰りに、会員同士でお茶会を行っている。

また、他の「サロン」では、お会いしない男性の参加も目立つようになった。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

①75 歳以上の単身者 64 名のうち 52 名 (81%) を会員に、75 歳以上夫婦の 50 世帯のうち 21 世帯 (42%) を拡大会員に登録 (組織) して出欠確認作業で見守りを行っている。

②食材 (野菜・米) は、五番街の菜園クラブや住民から提供があったり、食事前のイベントでは、五番街のクラブ・サークルや住民の歌、踊り、演奏等の参加があり、理事会を含め五番街全体の支援も受けている。

5 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- ①近隣地域へ「カレーを食べる会」方式の見守り活動を普及できるような活動を検討したい。
- ②「カレーを食べる会」会員（単身者）拡大会員（夫婦）にならなかった住民の見守りをどう取り組むかを検討したい。
- ③通常の見守り情報を、災害時支援にどのようにつなげるかを検討したい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	ふれあいセンター拠出金	¥ 30,000	¥ 34,876	¥ 4,876	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 30,000	¥ 34,876	¥ 4,876	
	「カレーを食べる会」の会費	¥ 144,000	¥ 208,800	¥ 64,800	参加者累計696名
				¥ 0	
	事業費収入額 (a②)	¥144,000	¥208,800	¥ ▲64,800	
	ふれあいセンター拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 48,000	¥ 50,992		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥222,000	¥294,668	¥ ▲72,668	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 322,000	¥ 394,668	¥▲72,668	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	食糧費	¥ 192,000	¥ 177,640	¥ 14,360	食材購入費
	通信費	¥ 36,000	¥ 38,475	¥ ▲2,475	電話代
	印刷	¥ 24,000	¥ 27,720	¥ ▲3,720	出欠表・案内書
	消耗品費(食器等)	¥ 0	¥ 55,769	¥ ▲55,769	使い捨て食器・スプーン等
	消耗品費(PCインク代)	¥ 22,000	¥ 44,072	¥ ▲22,072	PCインク代
		対象経費の合計(D)	¥ 274,000	¥ 343,676	¥ ▲69,676
(その他経費)	炊飯器等の器具等	¥ 48,000	¥ 50,992	¥ ▲2,992	
	その他経費の合計額(E) = (a③)	¥ 48,000	¥ 50,992	¥ ▲2,992	
合計額(F) = (D+E)		¥ 322,000	¥ 394,668	¥▲72,668	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- ~~3 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D) 事業費収入額(a②) 市民活動助成金(B)」と同額となること。~~
- 4 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

-

団体名
代表者氏名

五番街ふれあいセンター
会長 土橋 育郎

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	ふれあいセンター拠出	¥ 34,876		
	「カレーの会」会費	¥ 208,800	300円/人	参加会員は、累計696名。
	(対象外経費)	¥ 50,992		助成金対象外費用 (機器・器具等)
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 394,668		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	1 食糧費	¥ 177,640	領収書参照	食材購入費用
	2 通信費	¥ 38,475	請求書兼領収書参照	固定電話代金 (047-344-4410)
	3印刷費	¥ 27,720	領収書参照	理事会印刷機使用 10円/1枚・20円/1枚
	4 消耗品費 (食器等)	¥ 55,769	領収書参照	使い捨て食器・箸・スプーン等
	5 消耗品費 (PCインク代)	¥ 44,072	領収書参照	PCのプリンターのインク代金
	対象経費の合計	¥ 343,676		
その他経費	器具購入代	¥ 50,992		炊飯器 2 台、フードプロセッサー
	その他経費の合計	¥ 50,992		
合計額		¥ 394,668		

活動状況報告書

1 事業名称 伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験の講演会・ワークショップ事業 part2

2 実施主体

■ 団体名：東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I 講演会・ワークショップの実施

日付	作業内容
4月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・減災・福祉パートナーズ 蓮本浩介氏講演依頼 ・栗ヶ沢中学校地域防災委員会副委員長 所 正明氏講演依頼 ・千葉商科大学 人間社会学部准教 勅使河原隆行先生街歩きとマップ作りの相談 ・組織内部で日程の協議 ・会場確保
5月	事業の打ち合わせ（運営会議）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報掲載依頼（7月15日号） ・地図使用について著作権の確認
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・講師と打ち合わせ ・松戸市後援依頼 ・松戸市社協に後援と出席依頼 ・チラシ内容相談 ・チラシ完成 ・危機管理課に出席依頼 ・チラシの配布&PR活動 ・ゼンリンに相談 ・ミドリ安全に協賛依頼
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングリストにて、チラシ添付と参加依頼の呼びかけ ・近県の支援団体・松戸市内の市民団体・近県の行政参加者募集 ・講演会打ち合わせ ・日刊紙掲載依頼 ・地域新聞社掲載依頼 ・マップ作りの最終打ち合わせ 勅使河原先生サロンにて8/24 ・ミドリ十字から協賛品プレゼント届く ・9/6タイムスケジュール作成 8/26 ・ワークショップ用お茶の予約 ・昼食の予約 ・タイムスケジュールの作成

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・街歩きについて行事保険加入 ・消耗品の購入 ・当日資料蓮本講師から届き印刷 ・アンケート作成 ・配布資料の準備 ・参加者最終チェック ・受付名簿の作成
9月6日	<p>講演会当日</p> <p>1部 街歩きとマップ作りワークショップ 勅使河原隆行氏と学生</p> <p>2部 講演会 講師 蓮本講師浩介氏 所 正明氏 危機管理課まとめの言葉</p> <p>会場 松戸市女性センター</p> <p>参加者 60名</p>
9月	アンケート集計
10月	報告書作成
3月	報告書完成

II 防災講座の実施

日付	作業内容
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・講師依頼 松戸市総務部危機管理課 二見弘幸氏 ・防災講座 11月26日に決定 ・チラシ企画及び作成
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・講座企画打ち合わせ ・チラシ完成・印刷・チラシの発送 ・参加者申し込み受付 ・講師お願い依頼状危機管理課に
11月26日(木)	<p>いざという時のために</p> <p>松戸市における災害時体制について</p> <p>講師：松戸市総務部危機管理課専門監 二見弘幸氏</p> <p>会場 松戸・東北交流サロン 参加者 24名</p>
12月	報告書の作成
3月	報告書完成

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

1. チラシ 2500 枚配布。
2. 講演会 60 名参加（内大学生 8 名参加）・防災講座 24 名参加
3. 参加学生は街歩きのサポートも担ってくれた。
4. 参加の避難者は、各班に分かれて市民の中に分散して席を準備した。
5. 街歩きは、アンケートの通り、気づきの宝庫となった。
6. マップ作りについては、時間制限もあり完成させるのに課題を残した。
7. 講演後、質問の時間を設けた。この時間が意見交換の場となりよかった。
8. 防災講座については、身近な話題が親しみやすく行政と市民が生の声で交流できてよかった。
9. 他の市民活動団体同士を紹介し、つなげる役目が果たせた事は、助成事業として大きな成果と思う。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

1. 前年のアンケート結果から、街歩きは好評であった。
2. 蓮本氏の講演から、震災直後・3分後 30分後の行うべき体制・目の前の被災者を助けるか、身内を一番に助けるかなど瞬時に判断を要する内容の質問が投げかけられた。ワークショップでこのことを意見交換することができなくて残念であった。
3. 松戸市の避難所には、地域の住民全員が避難する容量はないことが判明。結果、近隣で助け合うことの大切さを学んだ。
4. 防災講座を実施することになった経過と結果
6月に六実の防災講座に参加させていただき、その内容が市民にはとても役立つと実感した事。
危機管理課とのお付き合いが深まる中で、9月の事業を単発で終わらすのは惜しいと感じた。
9月の事業の内、街歩きを実施したことで参加者から街の安全について疑問点が出たこと。
危機管理課の講座では、地域に根差した話題で参加者は聞き入った。
行政と、こんなに近しく交流ができたことに参加者は満足していた。
小規模の講座もテーブルを囲んで和やかで、参加者に記憶としてしっかり根付き意義があった。

5 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

1. サロンの地域を目標とした防災講座に取り組みたい。
2. 28年度避難所運営ゲーム「避難所 HUG (ハグ)」を実施する。
3. 防災街歩きを、サロンの地域に具体的に行いたい。
4. 参加した市民が、その手法を住居地の持ち帰り関心を持ち続けられるような事業にしたい。
5. この事業が縁で交流が始まった団体と協働で行える事業を見つけたい。
6. 当団体の活動目的に防災事業も加えたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	松戸・東北交流プロジェクト 拠出金	¥ 53,700	¥ 54,063	¥ 363	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 53,700	¥ 54,063	¥ 363	/
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 12,000	¥ 23,852		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a① + a②) + a③	¥ 65,700	¥ 77,915	¥▲12,215	/
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A + B)		¥ 165,700	¥177,915	¥▲12,215	/

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ 0	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 35,000	¥ 21,460	¥ 13,540	チラシ印刷
	消耗品費	¥ 13,000	¥ 14,115	¥ ▲1,115	街歩き消耗品
	食糧費	¥ 2,000	¥ 4,320	¥ ▲2,320	ワークショップお茶
	賃借料	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	プロジェクター
	通信運搬費	¥ 28,700	¥ 42,628	¥▲13,928	郵便料
	保険料	¥ 5,000	¥ 1,540	¥ 3,460	行事保険料
		対象経費の合計(D)	¥ 153,700	¥154,063	¥ ▲363
(その他 対象外) 経費	食糧費	¥ 10,000	¥ 23,002	¥▲13,002	
	サロン開設お茶代	¥ 2,000	¥ 0	¥ 2,000	
	駐車料	¥ 0	¥ 850	¥ ▲850	
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 12,000	¥ 23,852	¥▲11,852	/
合計額 (F) = (D + E)		¥ 165,700	¥177,915	¥▲12,215	/

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

団体名 東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト

代表者氏名 代表 古宮 保子



収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	松戸・東北交流プロジェクト拠出金	¥ 54,063		
	団体拠出金 (対象外経費)	¥ 23,852		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 177,915		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 60,000	60000円*1回	講師謝礼講師名 蓮本浩介氏5万円 講師名 所 正明氏 1万円
	2 印刷製本費	¥ 21,460	1500部14360円防災講座700部	防災講演会広報チラシの印刷代・ 防災講座チラシ印刷700部
	3 消耗品費	¥ 14,115	バインダー50枚・ 108円 コピー用紙 紙 インクトナー	事業用消耗品 コピー用紙 アンケート・街歩き
	4 食糧費	¥ 4,320	54円×80本	ワークショップ用お茶
	5 賃借料	¥ 10,000	10,000円*1回	プロジェクター賃借
	6 通信運搬費	¥ 42,628	82円×509人	切手代 チラシ送付41,738円 82円×509人 講師資料送付
	7 保険料	¥ 1,540	60人	行事保険 全国社会福祉協議会 加入期間9月6日
	対象経費の合計		¥ 154,063	
その他経費	食糧費	¥ 23,002	511.16円*45人	昼食代 スタッフ他
	交通費	¥ 850	駐車料	物品運び・発注
	その他経費の合計		¥ 23,852	
合計額		¥ 177,915		

活動状況報告書

1 事業名称 認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり *千葉*

2 実施主体

■ 団体名:松飛台自治会連合会

3 事業の実施内容

I 4/18 認知症講習会 ①松戸市の取り組み ②認知症サポーター養成講座の実施

日付	作業内容
1月10日	講習会企画打ち合わせ(全体の構成、テーマ、講師)
1月17日	4/18 講座の講師とテーマ依頼
3月7日	案内書、チラシ、ポスターの作成・配布
4月18日	講演会の実施 松飛台市民センター (講師) 高齢者支援課 保健師 守田加寿子氏 参加者 82人

II 5/23 認知症講習会 ①認知症になっても安心して暮らせる街づくり
②脳トレーニング、認知症の自己チェック

日付	作業内容
2月7日	講習会企画打ち合わせ(テーマ、講師)
2月8日	講師依頼、テーマ、内容打ち合わせ
4月19日	案内書、チラシ、ポスターの作成・配布
5月23日	講演会の実施 松飛台市民センター (講師) 千葉県認知症家 族の会 代表 広岡成子氏 原澄江氏 参加者 65人

III 7/11 認知症講習会 ①認知症の診断と治療

日付	作業内容
3月7日	講習会企画打ち合わせ(テーマ、講師)
3月9日	講師依頼、テーマ、内容打ち合わせ
6月6日	案内書、チラシ、ポスターの作成・配布
7月11日	講演会の実施 松飛台市民センター (講師) 千葉大学医学部 附属病院 認知症疾患医療センター医師 平野成樹氏 参加者 51人

IV 9/26 認知症講習会 ①認知症患者の介護

日 付	作 業 内 容
5月9日	講習会企画打ち合わせ(テーマ、講師)
5月12日	講師依頼、テーマ、内容打ち合わせ、スケジュール調整不可
6月10日	講師依頼、テーマ、内容打ち合わせ、スケジュール調整不可
9月1日	講師依頼、テーマ、内容打ち合わせ
9月10日	案内書、チラシの作成・配布
9月26日	講演会の実施 松飛台自治会連合会 事務所 (講師)包括支援センター介護支援専門員 左合智樹氏 参加者 47人

V H28 3/26 認知症講習会 ①認知症講習会総括～認知症患者と家族に対するそれぞれの役割～病院、介護施設、自治会、民生委員、見守りネットワーク

日 付	作 業 内 容
1月7日	講習会企画打ち合わせ(テーマ、講師)
1月24日	講師依頼、テーマ、内容打ち合わせ
2月26日	案内書、チラシ作成配布
3月21日	
3月26日	講演会の実施 松飛台自治会連合会事務所 (講師)島村トータル・ケア・クリニック院長 島村善行氏 参加者 43人

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

「認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり」の目的で、これまで5回の講演会を実施した。講演会に参加した人達の中には、患者・家族への対応方法が分かり、積極的に声掛けや見守りをしてくれる人も出てきた。一部ではあるが、今まで引っ込んでいた患者さんも買い物や外出をするようになってきた。これから時間をかけてじっくりと継続的に活動を続けて行きます。

(2) 事業課題の解決について

- ・大目的の達成には到らなかったが、いくつかの課題解決にはなった。
- ・参加者が特定の人に限定され、幅広く認知症への住民の関心と知識が高まったとは言えないが、一部の人達による声掛け見守りの支援活動が芽吹いてきた。
- ・患者・家族の支援体制ネットワークづくりは、各方面に働きかけたが出来ずじまいであった。引き続き、次年度の課題として取り組みます。
- ・4月に認知症ケア会議は出来る体制にないが、12名の自治会長、7名の民生児童委員、12名の高齢者相談員による第1回高齢者ケア会議の開催が決まった。その中で認知症をとりあげます。
- ・高齢者支援連絡員(相談員)は2名(2名とも78歳)から12名に増員できた。次年度からの活躍が期待されます。
- ・認知症サポーターは数名から82名になった。
- ・「認知症は恥ずかしくない」という風土はまだできていない。一部の認知症の方々ではあるが散歩、買い物に出ているのが見受けられる。

5 今後の事業展開

「認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり」には到らなかったが、この講習会を実施することにより、部分的な事業課題が達成されたものもあり、また次年度の新たな目標と課題が見えてきました。今年から連合会の高齢者総合対策の一環として3~5年かけて取り組んで参ります。(別紙 高齢者総合対策)

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	松飛台自治会連合会拠出金	¥ 112,200	¥ 14,703	¥▲97,497	
	寄附金	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 112,200	¥ 14,703	¥▲97,497	
	講座参加料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
				¥ 0	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	松飛台自治会連合会拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 7,000	¥ 0		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 119,200	¥ 14,703	¥ 104,497	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 219,200	¥114,703	¥ 104,497	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 50,000	¥ 10,000	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 42,000	¥ 19,800	¥ 22,200	チラシ印刷
	消耗品費	¥ 24,000	¥ 37,359	¥▲13,359	チラシ用紙
	使用料	¥ 19,600	¥ 6,944	¥ 12,656	会場使用料
	賃借料	¥ 61,600	¥ 0	¥ 61,600	音響設備, PJ
	郵送料	¥ 5,000	¥ 600	¥ 4,400	郵便料
	保険料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	行事保険料
	対象経費の合計(D)	¥ 212,200	¥114,703	¥ 97,497	
(その他経費)	食糧費	¥ 7,000	¥ 0	¥ 7,000	
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 7,000	¥ 0	¥ 7,000	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 219,200	¥114,703	¥ 104,497	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- ~~3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。~~
- 4 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円であること。

精算額 0

団体名
代表者氏名

松飛台自治会連合会
会長 倉田 斉

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	松飛台自治会拠出金	¥ 14,703		
	寄附金	¥ 0		
	講座参加料	¥ 0		
	松飛台自治会拠出金 (対象外経費)	¥ 0		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 114,703		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の 交付対象 経費	1 報償費	¥ 50,000	25,000円*2回	講師謝礼広岡成子氏、平野成樹氏
	2 印刷製本費	¥ 19,800	印刷およびコピー	案内状、チラシ、ポスター印刷代 講習会5回分
	3 消耗品費	¥ 37,359	1.5円*17,000 枚	案内状、チラシ、ポスター用紙、インク 事業用消耗品 案内状、チラシ印刷用紙17,000枚
	4 使用料	¥ 6,944	700円*4時間* 2回分	会場、音響備品使用料 松飛台市民センター ホール
	5 賃借料	¥ 0		(音響費等は使用料に合算)
	6 郵送料	¥ 600	600円*1人	切手代600円*1 講師の資料送付代
	7 保険料	¥ 0		
	対象経費の合計		¥ 114,703	
その他 経費	食糧費	¥ 0		
	その他経費の合計		¥ 0	
合計額		¥ 114,703		

活動状況報告書

1 事業名称 けん玉で遊ぼう事業II

2 実施主体

■ 団体名： 昔のあそびと遊ぼう会

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

1. 4月けん玉教室実施

日付	作業内容
4月6日	事業企画/講座内容打ち合わせ
4月7日	チラシの作成/印刷
4月8日～17日	チラシのPR活動、講師調整依頼
4月18日	4月けん玉教室開催 講師 矢野氏、黒田氏 参加者 52名 場所 六実市民センター

2. 5月けん玉教室実施

日付	作業内容
5月1日	行事保険手続き（9月分迄）
5月7日	講座内容打ち合わせ
5月8日	チラシの作成/印刷
5月9日～15日	PR活動
5月16日	5月けん玉教室開催 講師 矢野・寺本氏 参加者 56名 場所 六実市民センター

3. 6月けん玉教室実施

日付	作業内容
6月2日	講座内容打ち合わせ
6月5日	チラシの作成/印刷
6月8日～19日	PR活動
6月20日	6月けん玉教室開催 講師 川田嘉夫氏、矢野氏、佐藤氏 参加者 48名 場所 六実市民センター

4. 7月けん玉教室実施

日 付	作 業 内 容
7月3日	講座内容打ち合わせ
7月10日	チラシの作成/印刷
7月13日～17日	PR活動、行事保険加入手続き
7月18日	7月けん玉教室開催 講師 矢野・黒田・白石氏 参加者 43名 場所 六実市民センター

5. 8月けん玉教室・けん玉大会実施

日 付	作 業 内 容
7月30日	講座内容打ち合わせ
8月3日	チラシの作成/印刷
8月4日～14日	PR活動
8月15日	8月けん玉教室開催 講師 矢野氏・白石氏 参加者 17名 場所 六実市民センター

6. 9月けん玉教室実施

日 付	作 業 内 容
9月6日	けん玉教室・けん玉で遊ぼう事業内容打合せ 行事保険加入手続き (10月～2月分)
9月8日～18日	チラシ作成、発注 (けん玉で遊ぼう 1,000枚・10,000円)
9月19日	9月けん玉教室開催 講師 矢野・白石氏 参加者 33名 場所 六実市民センター

7. 10月けん玉教室実施

日 付	作 業 内 容
10月3日	講座内容打ち合わせ
10月4日～16日	PR活動
10月17日	10月けん玉教室開催 講師 川田嘉夫氏、白石氏、黒田氏 参加者 32名 場所 六実市民センター

8. 10月「けん玉遊ぼう」事業開催

日 付	作 業 内 容
-----	---------

9月19日～ 10月3日	チラシ配布（学校：1,000枚）、行事保険手続き（10月～2月） 「けん玉で遊ぼう」事業の段取り打合せ
10月4日～17日	PR活動
10月25日	「けん玉で遊ぼう」事業開催 講師 川田嘉夫氏、白石氏、黒田氏 内容 六実の小学生（3校）の参加呼びかけ、けん玉技を披露して興味をもってもらい、段・級の認定も合わせて実施 参加者 150名 場所 六実市民センター

9. 11月けん玉教室実施

日付	作業内容
11月4日	講座内容打ち合わせ
11月6日	チラシの作成/印刷
11月9日～20日	PR活動
11月21日	11月けん玉教室開催 講師 矢野氏・白石氏・黒田氏 参加者 41名 場所 六実市民センター

10. 12月けん玉教室実施

日付	作業内容
12月4日	講座内容打ち合わせ
12月7日～18日	PR活動
12月19日	12月けん玉教室開催 講師 川田嘉夫氏、白石氏、黒田氏 参加者 41名 場所 六実市民センター

11. 1月けん玉教室実施

日付	作業内容
1月4日	講座内容打ち合わせ
1月6日～15日	PR活動
1月16日	1月けん玉教室開催 講師 川田嘉夫氏、白石氏、黒田氏 参加者 43名 場所 六実市民センター

12. 2月けん玉教室実施

日付	作業内容
2月2日	チラシ準備、印刷
2月8日～19日	PR活動
2月20日	2月けん玉教室開催 講師 矢野氏、佐藤氏、白石氏、黒田氏

	参加者 62名	場所 六実市民センター
--	---------	-------------

13. 3月けん玉教室実施

日付	作業内容
2月25日	チラシ作成、保険手続き
3月4日～17日	PR活動（4月から第4土曜日開催周知活動ふくめ）
3月19日	3月けん玉教室開催 講師 川田氏、佐藤氏、矢野氏、白石氏 参加者 53名 場所 六実市民センター

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ・けん玉講習会参加者は、平成27年4月～平成28年3月迄で406名（月平均43.9名（計画30名））の参加があり大盛況でした。
- ・参加者のうち、けん玉有段者（5段：3名、4段：8名、3段2名、2段：6名、初段：8名）を多数合格することができました。
- ・会員のレベル向上ができ、段位未満の参加者に指導ができるようになり、継続の見通しができました。（2段1名、初段1名）
- ・けん玉を通して、益々多くに地域の方々と世代間交流ができ、地域の活性化が図れました。

（市内地域：六実、六高台、五香、稔台、常盤平、上本郷、新松戸、紙敷、東松戸、上本郷、古ヶ崎、小金、西馬橋、高塚新田等）

市外地域：鎌ヶ谷、白井、柏、船橋、流山、我孫子、市川、印西、八街、木更津、千葉、三郷、江戸川区、練馬区、三鷹、八王子等）

(2) 事業課題の解決について

- ・親子で参加することにより、一緒に楽しいひと時を持つことが出来ていると実感しています。また有段者も多数出てきたことは、日常での練習をとおして、教室の開催目的である「子供の達成感」、「家族のコミュニケーション作り」に役立っているものと思います。
- ・大人：子供の割合は40：60で、大人と子供と子供の相互コミュニケーション作りに役立てたものと思います。
- ・教室参加者も毎年増加し、多くの方々に楽しんで頂けたことと思います。市内及び市外から多くの参加頂き、地域の活性化に寄与出来たものと思います。（H26年：384名→H27年：527名）
- ・他の地域から、子供の育成の為、けん玉を教えて欲しいとの要望があり、地域を超えてけん玉の輪が拡大して来ていることを感じています。

5 今後の事業展開

- ・ 継続して開催出来るようにしていく為に、講師の育成と若い人の参加が必要です。会員の募集を継続して行っています。
- ・ 開催場所については、次年度も六実支所の協力を得て六実市民センターを使用出来るようになりましたが、今後も場所については市民センターの使用を依頼して行きます。
又講師については、日本けん玉協会の方が継続指導できるようにをお願いしていくと共に、会員の技術向上と新規会員募集を行って行きます。
- ・ 最近では、小学校3年生の授業として、年3回けん玉授業をとりいれている学校もあり今後も協力していきたいと思っています。
又他の小学校でも最近けん玉を授業として取り入れている学校がでてきており、助成事業を通して他の地域にも拡大しています。
- ・ けん玉だけでなく、他の昔のあそびを含めて、大人と子供が遊べる活動を進めていきたいと思っています。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	団体拠出金	¥ 11,080	¥ 11,232	¥ 152	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 11,080	¥ 11,232	¥ 152	/
	事業収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 7,220	¥ 7,220		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 18,300	¥ 18,452	¥ ▲152	/
市	市民活動助成金 (B)	¥ 97,000	¥ 97,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 115,300	¥115,452	¥ ▲152	/

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考	
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 40,000	¥ 40,000	¥ 0	外部講師謝礼	
	消耗品費	¥ 30,000	¥ 29,700	¥ 300	けん玉購入費	
	賞状等紙代	¥ 28,000	¥ 28,452	¥ ▲452	紙代、チラシ代	
	保険料	¥ 10,080	¥ 10,080	¥ 0	行事保険料	
		対象経費の合計(D)	¥ 108,080	¥108,232	¥ ▲152	/
(その他 対象外) 経費	食糧費	¥ 7,220	¥ 7,220	¥ 0		
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 7,220	¥ 7,220	¥ 0	/	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 115,300	¥115,452	¥ ▲152	/	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- ~~3 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D) - 事業費収入額(a②) - 市民活動助成金(B)」と同額となること。~~
- 4 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

-

団体名
代表者氏名

昔のあそびと遊ぼう会
会長 白石 彌登美

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体拠出金	¥ 11,232		団体(「昔のあそびと遊ぼう会」)より 拠出
	団体拠出金 (対象外経費)	¥ 7,220		団体(「昔のあそびと遊ぼう会」)より 拠出
市	市民活動助成金	¥ 97,000		
合 計 額		¥ 115,452		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の 交付対象 経費	1 報償費 (講師料)	¥ 40,000	10,000円*4回 =40,000円	講師謝礼 講師名 川田嘉夫様 10,000 円*4回
	2 消耗品費	¥ 29,700	けん玉30個 =29,700円	一括購入 (1ヶ当たり1,000円) 値引き後 29,700円
	3 賞状等紙代	¥ 28,452	賞状紙・インク チラシ	賞状用紙・インク代 (18,452円) チラシ印刷代(1000枚:10,000円)
	4 保険料	¥ 10,080	28円*360人 =10,080円	行事保険 (各1日) 損害保険ジャパン日本興亜保 険会社 加入期間 5月、6月、7月、8 月、9月、10月、11月、12月、1 月、2月、3月
	対象経費の合計	¥ 108,232		
そ の 他 経 費	食糧費	¥ 7,220	380円*19人 =7,220円	10月25日19名 お茶・食事代
	その他経費の合計	¥ 7,220		
合 計 額		¥ 115,452		

活動状況報告書

- 1 事業名称 外国人の子ども支援を考える事業
- 2 実施主体 認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会
- 3 事業の実施内容
- I 「本音で語ろう 外国人の子ども事情」の実施

日 付	作 業 内 容
4月7日	第1回子供支援事業打ち合わせ
4月13日	チラシ印刷・広報活動開始
5月7日	第2回打ち合わせ
5月15日	子育て支援課、教育委員会にチラシ配布・配架を依頼
6月1日	広報まつどに掲載される
6月8日	第3回打ち合わせ
6月14日(日)	「本音で語ろう 外国人の子ども事情」開催 13時30分～16時 稔台市民センター パネルディスカッション パネリスト：外国人の子どもの父母、学童の指導員 ：元小学校教師、まつど文化大使 ミニコンサート 参加者 73名

II 「本音で語ろう 外国人の子どもの進路」の実施

日 付	作 業 内 容
6月24日	第4回打ち合わせ(反省会と11/15に向けて)
7月27日	第5回打ち合わせ
9月4日	第6回打ち合わせ
9月18日	チラシ印刷、教育委員会、市内学童保育、大学等に配布依頼
10月5日	第7回打ち合わせ
11月1日	広報まつどに掲載される
11月15日(日)	「本音で語ろう 外国人の子どもの進路」開催 14時～16時 女性センター ゆうまつど 講演 白谷秀一氏(房総日本語ボランティアネットワーク) パネルディスカッション パネリスト：フィリピン、中国、韓国、ブラジルから来日し、 日本で進学、就職した青年たち 参加者 56名

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

1回目の講座では、子どもを日本の学校に通わせている保護者から、外国人が地域になじむ苦勞、努力等、生の声を聞くことができました。さらに2回目の講座では、外国出身の旧生徒からは、通学や進路選択等において直面した困難をいかに克服して、日本社会に定着したかを聞きました。彼らの前向きな生き方に対して、参加者の共感が得られ、約7割が満足との感想が寄せられました（アンケート結果を添付）。

2つの講座を通して子どもたちの現状を知り、彼らには今後どのような支援が必要かをともに考える機会となりました。

(2) 事業課題の解決について

外国人の子どもの多くは、言葉の壁により学校生活、学習におけるハンディを持ち、特に高校進学の際、その壁が顕著です。2回目の基調講演では千葉県でその問題の解決に向けて長く取り組んできた講師から現状と課題を聞きました。当会でも長年の経験を活かしながらも苦勞して、進学支援に取り組んでいます。外国人の子ども、保護者、教育者のこの講座の参加者の中から、当会の活動に理解を持ち、新たな支援者も生まれました。こうした小さな積み重ねから外国人の子どもへの支援が徐々に広がると思います。

5 今後の事業展開

日本社会のグローバル化が急速に進んでおり、今後も松戸市においても外国人の子どもたちの増加が見込まれます。彼らが日本人の子どもと同様、日本社会の構成員として元気に成長して行くため、必要な支援を継続します。高校進学支援に関しては、日本語指導だけではなく、学力アップを支援する必要があり、次年度は定例の教室のほか、秋季より日曜教室も開催し、活動をさらに充実させる予定です。また、当該問題を広く社会に認識してもらうため、引き続き講座の開催や広報活動を強化します。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	当会拠出金	¥ 24,720	¥ 10,173	¥ ▲14,547	
	寄附金	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 24,720	¥ 10,173	¥ ▲14,547	
	講座参加料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	当会拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 0	¥ 3,110	¥ ▲3,110	
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②) + a③	¥ 24,720	¥ 13,283	¥ 11,437	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 91,552	¥ 8,448	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 124,720	¥ 104,835	¥ 19,885	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	¥ 77,000	¥ 13,000	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 3,000	¥ 1,885	¥ 1,115	チラシ印刷
	消耗品費	¥ 9,100	¥ 12,048	¥ ▲2,948	チラシ用紙
	使用料	¥ 5,120	¥ 5,870	¥ ▲750	会場使用料
	賃借料	¥ 5,000	¥ 310	¥ 4,690	マイク使用料
	食糧費	¥ 10,000	¥ 3,476	¥ 6,524	ゲスト用昼食等
	郵送料	¥ 820	¥ 1,136	¥ ▲316	郵便料
	保険料	¥ 1,680	¥ 0	¥ 1,680	行事保険料
	対象経費の合計(D)		¥ 124,720	¥ 101,725	¥ 22,995
(その他経費)	賃借料	¥ 0	¥ 3,110	¥ ▲3,110	事前打合せ用
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 0	¥ 3,110	¥ ▲3,110	
	合計額 (F) = (D+E)		¥ 124,720	¥ 104,835	¥ 19,885

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- ~~3 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D) = 事業費収入額(a②) = 市民活動助成金(B)」と同額となること。~~
- 4 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額 ¥ 8,448

団体名 認定NPO法人
 外国人の子どものための勉強会
 代表者氏名 理事長 海老名 みさ子



収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	当会拠出金	¥ 10,173		
	寄附金	¥ 0		
	講座参加料	¥ 0		
	当会拠出金 (対象外経費)	¥ 3,110		
市	市民活動助成金	¥ 91,552		
合 計 額		¥ 104,835		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の 交付対象経費	1 報償費	¥ 77,000	3,000~10,000円* 13名	講師謝礼 白 谷 秀一氏 10,000円他12名
	2 印刷製本費	¥ 1,885	2,000部*2回 イ ク・用紙一括購入	広報チラシの印刷代 6/14、11/15二回分のチラシ
	3 消耗品費	¥ 12,048	インク・用紙一括 購入	事業用消耗品 チラシ印刷用紙等 一括購入
	4 使用料	¥ 5,870	市民会館*3時間	会場使用料 市民会館ホール、和室
	5 賃借料	¥ 310	マイク使用料	
	6 食糧費	¥ 3,476	ゲスト昼食、菓子、 飲物	
	7 郵送料	¥ 1,136	切手1,136円	切手代 82円×8人、120円×4人
	8 保険料	¥ 0		
対象経費の合計		¥ 101,725		
そ の 他 経 費	賃借料	¥ 3,110	打合せ用	
	その他経費の合計	¥ 3,110		
	合 計 額	¥ 104,835		

活動状況報告書

1 事業名称 知っておくと安心!

食品の安全な取り扱い手帳を市民に手渡ししたい～講演会の実施等で～事業

2 実施主体

■ 団 体 名：食の安全安心を考える市民の会

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I みんなで考えよ～食品の安全講演会・グループワークの実施

日 付	作 業 内 容
5月29日	総会および企画打ち合わせ 日刊紙取材
6月1日	講師依頼 日和佐信子先生 講演会日程決定 10月23日(金)
6月11日	チラシのデザイン相談
7月	ホームページ掲載のことで打ち合わせ 消費生活展打ち合わせ。生活展で助成事業のチラシ配布予定
8月	松戸市後援依頼 松戸市広報掲載依頼 8/14 チラシ完成 8/24
9月	チラシのPR活動と参加者募集 チラシ郵送 講演会打ち合わせ及び準備
10月	消費生活展時、講演会打ち合わせ 日刊紙掲載依頼 当日タイムスケジュール作成 当日の資料印刷(日和佐講師から送られてきたもの) 消耗品の購入
10月23日	講演会実施 松戸市女性センター 講師 日和佐信子氏 参加者 44名(男性8名・女性36名) ほぼ60代以降
11月	参加者お礼状 NHK クローズアップ現代取材 11月30日放映 ワークショップ集計
1月	広報まつど掲載のため取材
3月	報告書 広報まつど掲載 問い合わせ 35人(松戸市民)

II 料理講座の実施

日付	作業内容
12月	講師依頼 宋 如芳さん決定
28年1月	講座企画打ち合わせ 会場予約 2月23日(火)決定 チラシ企画(講師&メンバー)及び作成
28年2月	チラシ印刷・チラシの配布 申し込み受付 最終打ち合わせ 2月中旬予定 講師&スタッフ 当日資料の準備
28年2月23日 (火)	実施当日 2月23日(火)料理講座当日 市民会館調理室 参加者25人(男性3名・女性22名)募集定員5人オーバー 終了後、時間に余裕のある参加者と話し合いが持てた。

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

1. 完成した手帳190冊は、講演会・その他で市民に渡すことができた。
2. 食品の安全な取り扱い啓蒙活動は、講演会&ワークショップで実現できた。
3. ワークショップでは、班に分かれ「我が家の食の安全について」の取り組みを語り合った。
4. 農薬や食品添加物の安全性の確保の項目で、ADI(一日摂取許容量)の説明があった。
参加者から、毒性試験をどのようにしているかが分かってよかったとの言葉があった。
5. 組織のメンバーは、この事業をきっかけに結束した。手帳の改定にも取り組んでいる。
6. 新たな仲間が入ったことで、チラシの内容にも新しい風が感じられる。
7. 料理講座については、2月実施した。
8. 料理講座では、資料を配布したがその説明をする時間がなかった。
参加者はレシピには興味を持っていたが、食の安全を伝えるのは難しい。
9. 外国の方の参加者があった。中国語でとても楽しそうに話していた。
講師の先生が台湾の方だったので、国際交流にもなった。
10. 調理前に、講師がトイレに行くよう勧めたところ全員がエプロンのまま行った。エプロンの役目を話す機会となった。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

1. 講演会では、ADI のことが話題になった。その言葉を初めて聞く参加者も、多少知識のあった参加者にも知識として大きなお土産になったことと思う。
2. グループワークでは、我が家の食品の取り扱いについて、お互い他者の話が参考になった。
3. グループワークで発せられた意見を数値で表現した。
★食品を購入する時、どんなことに注意を払っていますか。
添加物 6 人・放射能・1 名・農薬 1 名・国産・3 名・加工食品の表示 4 名
家庭菜園も気を付ける 1 名(グループワークで模造紙に書いた数値)
★その他
買い物・衛生・ウイルス対策・健康・無駄をなくすなどジャンルに分けて話し合ったグループもあった。
お酒は、程々に・バランスの良い食生活を送るなど結論付けたグループもある。
4. 若い世代の参加者がなく残念であった。

5 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

1. NHK クローズアップ現代担当者に、第 2 弾を期待していると迫られた。この言葉と千葉大の授業に出席したことが引き金になり、手帳の内容を一部改訂することになった。
2. 次に第 2 弾の構想を練らねばならない。
3. 食に関わる法律の改正も早い。常に新しい情報に注目しなければならない。
4. 手帳の増刷 2000 冊が可能になりそうである。
5. 高校の家庭科の教科書として使いたいとの依頼もある。
6. 若い世代へ伝える。高校との接点を使いたい。
7. 日生協との協力も可能になりそうな気配。
手帳は、全国を駆け巡る。
8. 料理講座を引き続き実施し、食の安全の啓蒙活動を行っていきたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	食の安全安心を考える市民の会拠出金	¥ 20,300	¥ 30,145	¥ 9,845	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 20,300	¥ 30,145	¥ 9,845	
				¥ 0	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	食の安全安心を考える市民の会拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 0	¥ 4,600		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 20,300	¥ 34,745	¥ ▲14,445	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 120,300	¥134,745	¥▲14,445	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	¥ 60,000	¥ ▲10,000	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 30,000	¥ 27,000	¥ 3,000	チラシ印刷
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 17,219	¥ ▲7,219	チラシ用紙・インク
	使用料	¥ 2,000	¥ 2,220	¥ ▲220	会場使用料
	賃借料	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	プロジェクター
	郵送料	¥ 12,300	¥ 13,706	¥ ▲1,406	郵便料
	保険料	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000	行事保険料
		対象経費の合計(D)	¥ 120,300	¥ 130,145	¥ ▲9,845
(その他経費)	消耗品・調味料	¥ 0	¥ 4,600	¥ ▲4,600	
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 0	¥ 4,600	¥ ▲4,600	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 120,300	¥134,745	¥▲14,445	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- ~~3 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D) - 事業費収入額(a②) - 市民活動助成金(B)」と同額となること。~~
- 4 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥ -

団体名 食の安全安心を考える市民の会
代表者氏名 代表 石田 貴士

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	食の安全安心を考える市民の会拠出金	¥ 30,145		
	寄附金	¥ 0		
	講座参加料	¥ 0		
	食の安全安心を考える市民の会拠出金(対象外経費)	¥ 4,600		
市	市民活動助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 134,745		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 60,000	50000円*1回 100000円*1回	講師謝礼 日和佐信子氏50000円 講師名 宋 如芳氏 10,000円
	2 印刷製本費	¥ 39,244	1000部・400部	広報チラシの印刷代 食の安全講演会の実施分 1000部 配布 料理教室 400部
	3 消耗品費	¥ 4,975	パネルディスカッション・料理講座講演会・料理講座レジメ	事業用消耗品 チラシ印刷用紙 400枚 模造紙 10枚 レジメ
	4 使用料	¥ 2,220	370円*6時間	会場使用料 市民会館調理室
	5 賃借料	¥ 10,000	10,000円*1回	講師パワーポイント使用10/23
	6 郵送料	¥ 13,706	82円×120人	切手代 82円×120人 他参加依頼・講師資料送付
	7 保険料	¥ 0	加入せず	
	対象経費の合計		¥ 130,145	
その他経費	消耗品・調味料	¥ 4,600	ゴマ油・醤油・クッキングペーパー	
	その他経費の合計		¥ 4,600	
	合計額		¥ 134,745	

活動状況報告書

1 事業名称 団塊シニア世代の地域デビュー事業

2 実施主体

■ 団体名： 認定 NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I 地域デビュー講演会の実施

日付	作業内容
4月1日	講演会計画打ち合わせ
4月1日	チラシの印刷
4月1日	広報まつど掲載
4月2日～15日	新松戸地区 チラシポスティング
4月14日	大学との会場利用の打ち合わせ
4月17日	スタッフ打ち合わせ
4月18日	講演会の実施 流通経済大学 講師堀田力氏 参加者 130 名
4月24日	振り返りの会

II 地域デビューセミナーの実施

日付	作業内容
4月17日	講座企画打ち合わせ①
4月24日	講座企画打ち合わせ②
4月29日	チラシの印刷
6月1日	広報まつど掲載
6月7日	ボランティア受け入れ団体へのご依頼文書作成送付
6月14日 20日・21日	講座の開催 女性センター 参加者 延べ70名 講師：阿部剛 まつど市民活動サポートセンター長 田中尚輝 市民福祉団体全国協議会 専務理事 岩橋秀高 人材パワーアップセンター 理事長 中澤豊 松戸市介護制度改革課 専門監 他 ボランティア受け入れ団体 NPO 法人宅配給食すずな・NPO 法人豆のちから NPO 法人さわやか福祉の会くらしの助っ人 メイクまつどビューティフル 他
7月	OJT (実地体験活動) 参加者 25 人 受入団体 4 団体
8月3日	振り返りの会

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

	計画	実際	計画比
4月の講演会	100人	130人	130%
6月のセミナー	60人	70人	117%

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

1. 講演会、参加を通して団塊シニアの社会活動参加へ契機をつくることができました。
2. セミナー参加を通して団塊シニアの地域活動への具体的な参加を促進することができました。

5 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

1. 引き続き、団塊シニアの地域デビューに資するセミナー・研修会を実施していきます。
2. より多くの団塊シニアが参画の機会をもてるよう取り組み、創意工夫をしていきます。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	団体拠出金	301,000	218,734	-82,266	
	寄附金	100,000	45,000	-55,000	
	自己資金合計額 (a①)	401,000	263,734	-137,266	
	講座参加料	0	38,000	38,000	
				0	
	事業費収入額 (a②)	0	38,000	38,000	
	団体拠出金(対象外経費分) (a③)	100,800	100,800	0	
自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a① + a②) + a③	501,800	402,534	99,266		
市	市民活動助成金 (B)	300,000	300,000	0	←精算額
	合計額 (C) = (A + B)	801,800	702,534	99,266	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	報償費	350,000	255,000	95,000	
	印刷製本費	180,000	128,860	51,140	
	使用料	130,000	0	130,000	
	通信費	41,000	217,874	-176,874	
		0	0	0	
		0	0	0	
		0	0	0	
		対象経費の合計(D)	701,000	601,734	99,266
(その他経費)	アルバイト賃金	100,800	100,800	0	
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	100,800	100,800	0	
	合計額 (F) = (D + E)	801,800	702,534	99,266	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- ~~3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄 - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。~~
- 4 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

0

団体名 認定NPO法人たすけあいの会
ふれあいネットまつど

代表者氏名 代表 島田喜七

収支内訳書

【事業費の収入額】

2016.2.5

科目		金額	内 訳	摘 要
団体	団体拠出金	218,734		対象事業費の一部を本会会計より拠出
	寄附金	45,000		会員寄付金
	講座参加料	38,000		1,000円×38人
	団体拠出金 (対象外経費)	100,800		対象外経費を本会会計より拠出
市	市民活動助成金	300,000		
合 計 額		702,534		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	1 報償費	150,000	150,000円×1人	講師謝礼堀田力氏150,000円×1回
		105,000	15,000円×7人	セミナー講師 (別紙参照) 15,000円×1回×7人
	2 印刷製本費	74,628		堀田先生講演会チラシ デザイン・データ作成・印刷一式 15000枚、74,628円
		17,540		セミナーチラシ4000枚 ①8,770円②8,770円
		36,692		セミナー資料 (モノクロ) ① (モノクロ) 8918枚 15,892円 ② (カラー) 1040枚 20,800円
	3 通信費	217874		①講演会セミナーチラシ発送費2000部 168,780円
				②セミナーチラシ発送費850部 49,094円
対象経費の合計		601,734		
その他経費	アルバイト賃金	100,800		900円×8時間×7日×2人
	その他経費の合計		100,800	
	合 計 額		702,534	